

2026 年度 愛知県陶磁美術館 復元古窯焼成

「瀬戸の窯で常滑を焼く」

陶磁美術館の復元された江戸時代の連房式登窯に火が入る

11月6日（金）～8日（日）3日間、様々な関連イベントが開催されます！



連房式登窯から炎が噴き出す様子

【復元古窯焼成事業概要】

愛知県陶磁美術館は、2026年11月6日（金）～8日（日）まで、館内に復元した江戸時代の連房式登窯を活用し、薪を燃料とした焼成を行う復元古窯焼成を行います。

【今回のテーマは 常滑！】

2026年度は、「瀬戸の窯で常滑を焼く」をテーマとします。愛知県の重要な窯業地の一つ、常滑の陶土を用いた制作体験を行い、瀬戸の連房式登窯で焼成する、今までに、ありそうでなかった実験的な薪窯の焼成を行います。また、本事業を通じ、瀬戸と常滑の新たな交流を創出し、薪窯焼成に関する知識及び技術の継承を図ることを目的とします。

【講師は常滑の陶芸家・鯉江 明氏】

窯の焼成には、薪窯の焼成に精通した常滑の陶芸家・鯉江 明（こいえあきら）氏を講師として招聘し、連房式登窯の構造的特徴を活かした焼成を行います。3つの各房に異なる条件や意図を設定し、新たな薪窯の焼成に試みます。

【燃料の薪は海上の森や館内からも】

焼成に使用する薪の一部は、あいち海上の森センターの整備及び陶磁美術館館内植栽管理に伴い伐採した雑木を使用し、地域資源の循環利用を図ります。

【報告会を開催し、未来へ繋げる】

12月6日（日）には報告会を開催します。焼成時の状況やデータを参加者や関係者と共有するとともに、意見交換も行い今後の活動に活かします。報告会には、焼成された作品も公開し、成果を検証します。

復元古窯焼成を楽しむポイント

その① 1000℃を超える炎を間近で体感できます

焼成中の登り窯を間近で見学できます。窯から噴き出す炎や、薪が燃える音。焼成中は昼夜を問わずその様子を見ることができます。タイミングが良ければ、1000℃を超える窯の中からはやきものを強制的に出す技法「引き出し」を見ることができます。熱を運び、真っ赤になった作品が窯から出る様子は神秘的でとても美しい光景です。

窯の様子が落ち着いた状況では、専門員のサポートを受けながら、実際に窯の中に薪を投げ入れることも体験できます。焼成の様子は随時解説を行います。



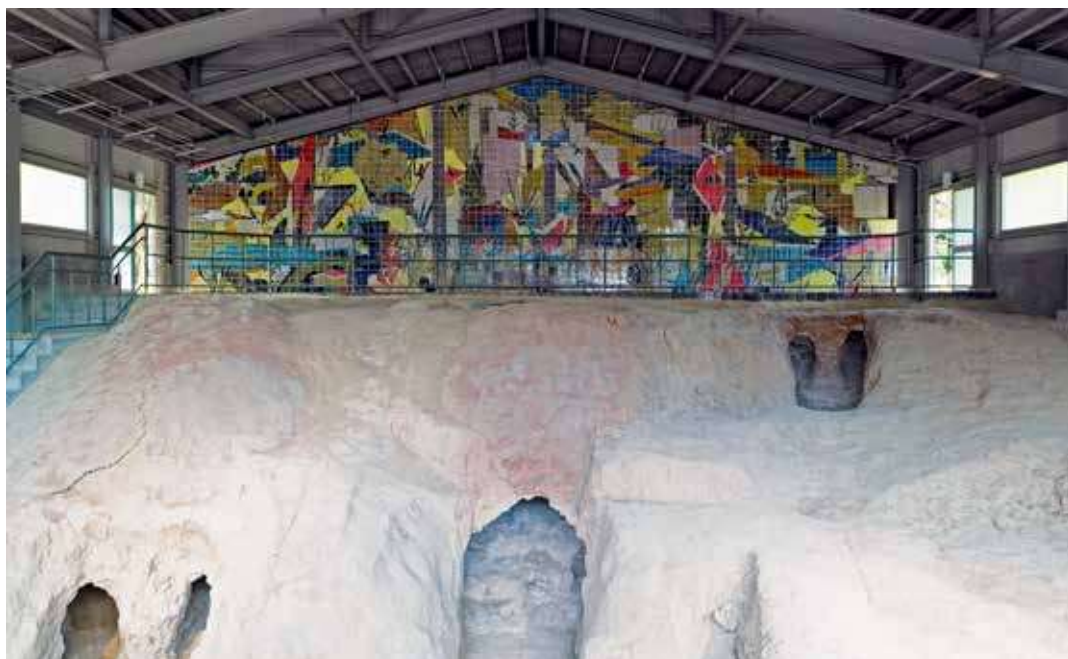
窯内から茶碗を引き出している様子

その② 愛陶窯巡り - 常滑と猿投・瀬戸を繋ぐ -

11月7日（土）16：00～17：30 頃、陶磁美術館敷地内の「窯」を学芸員と巡る「愛陶窯巡り」を開催します。窯の記憶Ⅰ・Ⅱ内に保存されている、平安時代・鎌倉時代に作られた古い窯（窖窯）、復元された瀬戸の大窯、連房式登窯を巡り学芸員がリレートークを展開します。今回のテーマは「常滑と猿投・瀬戸を繋ぐ」です。復元古窯焼成の講師、鯉江明氏も交え、各窯の使われていた時代の常滑・瀬戸のやきものの話や、その相違点や共通点、原料となる「土」の話などを宵の口、焼成中の窯の傍で楽しめる、プレミアムなイベントです。（参加費無料・事前予約不要）

その③ 11月7日（土）と8日（日）は陶磁美術館全体が復元古窯焼成と連動します

つくるとこ！陶芸館では、**こども向け参加型アート『未来の都市をつくろう』** in 愛知県陶磁美術館**つくるとこ！陶芸館**を開催します。（詳細は次項にて）本館では企画展「夢見る建築 中国古代の明器に宿る建築の断片」を学芸員が案内する子供向け鑑賞ツアー、敷地内の「やきものとともにあった森」を探索するイベントなどを計画中です。窯焚き広場では、陶芸道具むらかみが窯道具の販売、専門員による薪割り体験など準備が着々と進められています。



未来を紡ぐプロジェクト 彫刻家 TAKU NISHIMURA× エスケー鋳産

こども向け参加型アート

未来の都市をつくろう

in 愛知県陶磁美術館 つくるとこ！陶芸館

こども向け参加型アート『未来の都市をつくろう』in 愛知県陶磁美術館つくるとこ！陶芸館

やきものづくりの道具や粘土の塊、ガラスの砂、石、布、糸、レンガ、木材など、私たちの衣食住を支えるさまざまな素材を使って、つみき遊びのように自由に「未来の都市」をつくる参加型アートイベントを開催します。

会場となる「つくるとこ！陶芸館」の2つの実習室には、いくつもの素材の山が出現します。ものづくりの舞台裏で活躍している本物の素材と遊びながら、資源の循環やものづくりを支える人・素材・技術に出会うことができます。

予約不要 参加費 無料

開催日時

2026年11月7日(土)、11月8日(日)

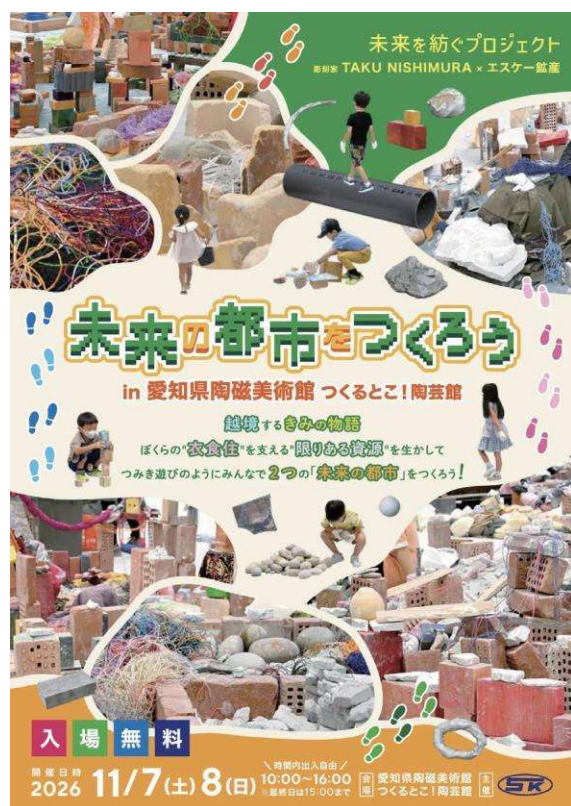
10:00-16:00 (8日は15時まで)

時間内出入自由

会場

愛知県陶磁美術館 つくるとこ！陶芸館

- ・混雑の状況によっては入場制限を行う可能性があります。
- ・小さいお子様が参加される際は必ず大人の方の付き添いが必要です。
- ・安全性の観点から参加時の履き物はサンダルより靴をお勧めします。



「未来の都市をつくろう」は、エスケー鋳産株式会社が取り組む、「限りある資源の未来」と「日本のものづくりの精神」を次世代へつなぐことを目的としたCSR活動「未来を紡ぐプロジェクト」の一環として、これまで主に名古屋市で開催してきました。コラボアーティスト・TAKU NISHIMURA 氏のワークショップの手法を取り入れ、子どもから大人まで直感的に楽しめる内容となっています。

今回は、やきものの文化と歴史が息づく愛知県陶磁美術館を舞台に開催。これまでの「未来の都市をつくろう」で親しまれてきた、解体された焼成窯のレンガや鋳物の粉砕機で使われていた玉石に加え、愛知県陶磁美術館ならではの素材や、瀬戸の窯業を舞台裏で支えてきた道具や廃材も登場します。

ものづくりの精神が脈々と受け継がれてきたこの土地で、本物の素材と遊びながら、みんなでダイナミックに未来を描いてみませんか。1時間でも、2日間たっぷりでも。時間内は出入り自由です。好きな時間にお楽しみいただけます。

現在、応募可能な復元古窯焼成関連イベント

企画展 夢見る建築 中国古代の明器に宿る建築の断片 × 2026 年度 復元古窯焼成 関連企画

薪窯で焼く！「夢見て建築」～理想の建物を作って、やきものの街をつくる～

要事前予約イベント

開催日時

①制作日：2026 年 10 月 4 日（日）10:30-15:30

※1 時間の休憩あり

②展示期間：2026 年 12 月 1 日（火）～6 日（日）

応募締切

2026 年 9 月 27 日（日）

定員

50 名（どなたでも参加可能）

※応募者多数の場合は抽選

会場

①愛知県陶磁美術館 つくるところ！陶芸館

②愛知県陶磁美術館 本館ロビーにて展示

参加費

一般 3,500 円 中学生以下 3,200 円

※お支払いは当日現金のみになります。

その他

色や質感は、薪を燃料として使う窯で焼成するため、

想像と異なる焼き上がりとなる場合があります。

完成した作品は、当館職員が本館ロビーにて展示をし、やきものの街をつくりあげます。

展示期間：12 月 1 日（火）～6 日（日）

※焼き上がった作品のお渡しは、12 月 8 日（火）以降になります。

企画展と復元古窯の焼成を組み合わせた、愛陶でしかできない特別な体験講座です。



お申し込み方法

- ・氏名（フリガナ）、年齢、参加人数、電話番号をご記入の上「メール」にてご応募ください。
- ・「メール」toujiyoyaku@apm.or.jp（件名に「夢見て建築」とご記入ください）
- ・応募締め切りは 2026 年 9 月 27 日（日）必着です。
- ・この講座はメールでのみ応募を受け付けます。

タイムスケジュール（焼成の推移は予測）

11月6日（金）

10:00 火入れ式 窯焚き広場
胴木間の焼成
焼成終了まで、
昼夜を問わず焚き続けます

11月7日（土）

2:00 頃 1つめの房に焼成が移る（予測）

10:00 未来の都市を作ろう開始
13:00 薪割り体験（予定）

16:00 未来の都市をつくろう終了
愛陶窯巡り開始
17:30 愛陶窯巡り終了

11月8日（日）

0:00 頃 2つめの房に焼成が移る（予測）
※早朝に引き出し黒（予測）
7:00 頃 3つめの房に焼成が移る（予測）

10:00 未来の都市をつくろう開始
薪割り体験（予定）

※昼頃に引き出し黒（予測）

15:00 未来の都市をつくろう終了

17:00 焼成終了（予測）

企画展 「夢見る建築 中国古代の明器に宿る建築の断片」 子供向け鑑賞ツアーは、7日、8日両日2回開催予定

お問い合わせ・担当

2026年度 愛知県陶磁美術館 復元古窯焼成 瀬戸の窯で常滑を焼く

担当 陶芸館：岩渕 学芸課：澤井 陶芸指導員：藤井・三林

未来を紡ぐプロジェクト 彫刻家 TAKU NISHIMURA×エスケー鋳産

こども向け参加型アート

未来の都市をつくろう in 愛知県陶磁美術館 つくるところ！陶芸館

担当 学芸課：加藤・鮫島

企画展 夢見る建築 中国古代の明器に宿る建築の断片 ×2026年度 復元古窯焼成 関連企画

薪窯で焼く！「夢見て建築」～理想の建物を作って、やきものの街をつくる～

担当 陶芸館：岩渕・前澤

愛知県陶磁美術館 学芸課 〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町 234 番

TEL:0561-84-7474 FAX:0561-84-4932

広報担当：神尾